

石巻市NPO支援オフィス通信
 N PO N PO
月刊 んぼん舗
 平成25年3月号 第115号 毎月10日発行

発行日 2013年3月10日
 発行 石巻市NPO支援オフィス
 〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63
 TEL/FAX 0225-23-3641
 E-mail nposhien@pluto.plala.or.jp
 URL http://www.ishinomaki-npo.jp/

□ オフィス開館時間: 月~金曜日10:00~20:00 土曜日10:00~18:00 日曜・祝日休館 □

助成金情報

かほく「108」ファンド 将来を担う子どもたちの「心」と「からだ」をはぐくむ活動を支援します

- 対象活動: 子どもの健全育成活動、子育て支援活動、文化活動を通じての子どもへの育成、子どもの体験活動
- 助成額: 1件あたり20万円上限(総額150万円)
- 締切: 3月31日(日)



お問い合わせ
 〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28
 河北新報社 総務広報部 (担当:小貴)
 Tel022-211-1447 FAX 022-211-1448
 メール k108@po.kahoku.co.jp

<http://blog.kahoku.co.jp/csr/2013/02/108.html>

みやぎNPO夢ファンド

宮城県からの拠出金と市民・企業などからの寄附金を原資としNPOに助成を行なうNPO支援基金です。多くのNPOがのびのびと活動できる環境を整備することを目指します。

- (B) 組織開発(人材育成を含む)支援プログラム
- (C) スタートアップ支援プログラム
- 助成額: 30万円以内(あわせて10団体程度)
- 締切: 4月10日(水)

お問い合わせ
 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
 (特活) せんだい・みやぎNPOセンター 内
 みやぎNPO夢ファンド事務局 (担当:伊藤、三浦)
 電話 022-264-1281 FAX 022-264-1209
 メール minmin@minmin.org

<http://www.minmin.org/?p=1894>

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業(第11次)

被災者に寄り添い、協力し合い、復旧・復興に向けて継続的に支えてくれる人を支える募金です。

<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

お問い合わせ
 〒100-0013 千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビル5階
 電話 03-3581-3846
 社会福祉法人中央共同募金会
 企画広報部 (ボラサポ担当)

特定非営利活動法人

いしのまきNPOセンター Twitter アプリケーション開発事業

いしのまきNPOセンターでは、NHK仙台放送局技術部・NHK福島放送局技術部様の協力により東日本大震災時のツイートデータの可視化技術を応用して、リアルタイム検知・収集の開発を進めてきました。



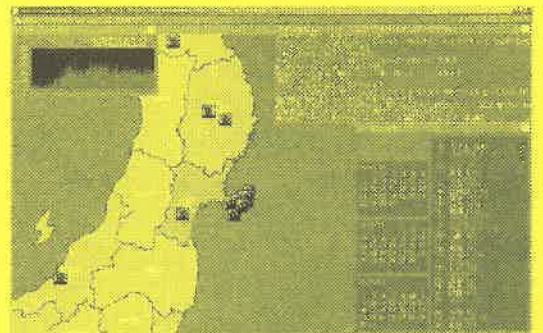
第42回 NHK番組技術展で公開イベントが行われたので、NHK放送センター(東京・渋谷)にて取材をしてきました。

会場では全国の放送技術現場で開発された放送機器など様々な展示があり、その中で「Twitterから自動で異常検知&情報収集」が紹介されていました。

各地の放送局の専門的な機材に混じって、変わったアプローチが評価されたのかイベント終了後に優秀賞を頂いたそうです。

当日は東日本大震災時のプレイバックと異常検知・収集機能を展示していました。

← 見学者の方々への説明の様子



アプリケーションの実行画面例

今後はボランティアでの活用ができる改良も行っていきます。このアプリケーションは報道用のみならず、被災地から発信された避難所などの情報を検知することも可能です。

**【登録番号106】NPO法人石巻復興支援ネットワーク
石巻に恋しちゃった♡～雄勝石アートと海鮮丼～**

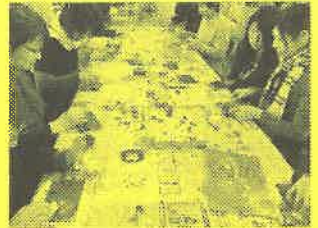
- 達人：高橋 頼雄（たかはし よりお）氏
- 日時：2月10日（日）11：00～13：00
- 会場：おがつ店こ屋街（石巻市雄勝町雄勝字伊勢畑84-1）

さまざまな趣味や特技を持つ、26人の石巻の「達人」による体験プログラム「石巻に恋しちゃった（略称：いしこい）」が2月1日～17日まで開催されました。



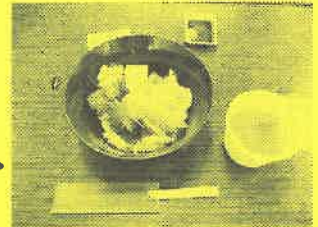
←会場のおがつ店こ屋街（読み：おがつたなこやがい）は、プレハブ2階の2棟で構成され、被災した地元の食料品店や海産物店、すし店など11店舗が入居しています。

雄勝石に絵を描きます。何を描こうか、何色にしようか、皆さん迷いながら作成されていました。描いた後はドライヤーをかけて頂き、完成です。



←雄勝の復興に奮闘されている雄勝石職人・高橋頼雄さんは「こうして皆さんが訪れて下さるよう、今後もイベント等を開催し、交流の場を作っていきたい。」と仰っていました。

昼食は、店こ屋街内「伝八寿司」さんの海鮮丼。マグロ、イクラ、エビ、ホタテ、カニ、数の子・・・海の幸いっぱい！



「いしこい」には達人を含め約500人の方が参加されたそうです。次回は「夏」開催とのことです！

**【登録番号5】石巻を考える女性の会
おんなの井戸端会議 -こんな石巻になったらな～**

- 日時：2月16日（土）13：30～15：30
- 会場：JAいしのまき農協会館（石巻市中里5-1-12）

「これからの石巻を女性の視点から一緒に考えてみましょう。」というテーマの元、石巻でご活躍の女性団体のリーダーが集まり、理想の石巻・女性像を語り合いました。



石巻商工会議所女性会会長・阿部美枝氏「女性に一步踏み出す勇気を持ってほしい。」
石巻地域婦人団体連絡協議会会長・今泉千枝子氏「衣食住をもっとしっかりできる街。」
石巻会会長・久我恵美子氏「支援に期待せず、自立しないと。女性は自分を磨く！」
JAいしのまき女性部部長・渡辺ひろ子氏「女性が公の場に出やすい環境を作って。」
NPO法人ベビースマイル石巻代表・荒木裕美氏「弱いところを守ってほしいのではなく、自分達が主体的にやろうとしていることへのサポートが欲しい。」
石巻を考える女性の会会長・三浦ひかる氏
「女性の声は街づくりに反映されているのか。議員に女性がいないので反映しにくい？」

**【登録番号116】一般社団法人みらいサポート石巻
仮設サロン支援連絡会**

- 日時：隔週木曜日 17：00～（参加日：2月21日）
- 場所：宮城県石巻市不動町2丁目16-10 明友館1F

2011年8月から開催されている「仮設サロン支援連絡会」支援団体や自治会が集まり、仮設支援の目的、自立支援の在り方などが話し合われています。



お茶会など、仮設住宅のコミュニティ形成の支援を行う団体からは「住民主体になってきており、自分達はいなくても大丈夫と感じてきた」という声がありました。自治会から、これから心配されることとして、自分達が去った後に自治会が今後も継続されていくか（住民が本当に自治会を必要としているか？根本的なことも）という話も。いずれは終わる仮設住宅の生活をどこまで支えるか、仮設に取り残される方への配慮、震災遺児への支援が見過ごされているという話も出ました。また、復興住宅への支援の話題も挙がっていました。貴重な意見が交わされ、情報収集や他団体とのネットワークの場になっていますので、関心を持たれた方はぜひ参加されてみて下さい。

**主催：石巻若宮丸漂流民の会
高倉浩樹講演会「シベリアと漂流民－漂流民の記録から
みえてくるシベリア民俗学：歴史と現在－」**

- 日時：2月16日（土）15：00～17：00
- 場所：かほくホール（石巻市千石町）

石巻若宮丸漂流民の会のH24年度総会が開かれ、引き続き講演会が行われました。



若宮丸漂流民の会主催『シベリアと漂流民』の講演会が開かれました。シベリア先住民の文化と社会を研究されている東北大学の高倉准教授が、千石船若宮丸で漂流した乗組員たちが残した見聞録「環海異聞」を手がかりに、その史料における記述が人類学的に、海洋文学的に大変貴重で価値のある文献だと解説し評価していました。ロシアという広大な異国の地で、さまざまなアジア系の民族に出会いながら公平に人類の一員として、記録した我々の先祖の柔軟で臨機応変な対応は、素晴らしいと思いました。

